

# いやさか通信

(※「いやさか」とは、「栄える」という意味を持つ「弥栄」を平仮名で表記したものです)

年齢	R2.11末(前月比)
0歳～14歳	488人(0)
15歳～64歳	2,403人(+2)
65歳～	1,877人(-5)
合計	4,768人(-3)

弥栄町の人口

## 花のプランターで地域を元気に

12月8日、清新高等学校の生徒から、花のプランター30個が弥栄町区長連絡協議会に進呈されました。

この取り組みは、地域の皆さんに花を見て楽しんでもらいたいと生徒が企画し行われたもので、プランターは弥栄病院や公民館等の公共施設に来年の春頃まで設置される予定となっております。

弥栄庁舎で進呈式が行われた後、生徒と弥栄町区長連絡協議会や、地域の花づくりボランティアの方等との交流を目的に「地域と高校生で取り組みたいこと」をテーマに座談会が行われ、生徒に地域のイベントや活動への参加を呼びかける等、地域と高校生との連携について話し合いました。

生徒は「ボランティアを通して



進呈式に参加された皆さん



(上)進呈されたプランター  
(下)座談会の様子

て弥栄町の人達と関わりたい」「普段の生活の中であまり年上の人と話す機会がないので、地域のいろんな年代の人達と交流してみたい」と話していました。

## 昔の遊びを体験

12月8日、弥栄小学校と吉野小学校の1年生27人が、お手玉やコマ回し、あやとり等の伝承遊びを体験しました。ウイーンズやさか野の皆さんに遊び方を教えていただき、最後の発表で児童は「コマを回すのが難しかったけど楽しかったです」とお礼の言葉を述べていました。



お手玉を教わる子ども達

## 子ども達に木に触れる機会を

弥栄町野間地域を拠点に活動されている地域おこし協力隊の稲本 真也さんは、地域産木材を活用した木製品の製作を行いながら、木育や森林保全の普及啓発活動をされています。今年5月にはコロナウイルスの影響で自粛中の子ども達のために積み木の無料配布を行いました。

そして12月からは、網野町島津の有限会社丹後木工所さんと協力し、市内のこども園や保育施設で環境学習に取り組みんでいます。この取り組みは、子ども達に府内産の木材で製作したおもちゃで遊んでもらうことにより、木育ならではの豊かな感性を養い、自然環境に関心をもってもらうことを目的に実施しています。おもちゃは板に木のレールをくっつけ、上からビー



(左)田畑さん/(右)稲本さん



おもちゃで遊ぶ子ども達(弥栄こども園)

12月16日に弥栄こども園で行われた環境学習では、子ども達は新しいおもちゃに興味津々になりながらレールの配置を自分で設定し、頭に浮かんだアイデアを形にして、楽しんで遊んでいました。

稲本さんは「このおもちゃの遊び方は無限にあるので、自由に考えて楽しんでほしい」有限会社丹後木工所の田畑 淳次さんは「山を綺麗にすれば川が綺麗になる。川が綺麗になれば海が綺麗になる。自然を守ることも大切に話してほしい」と子ども達に話されていました。